



毎日、発明する会社

2018年4月期

第2四半期 決算説明資料

フリービット株式会社

2017年12月8日

1. 2018年4月期 第2四半期 連結業績 . . . 3
2. 2018年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗 . . . 19

資料内略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FIV	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
IJK	(株)医療情報基盤=完全子会社
TM	トーンモバイル(株)=持分法適用関連会社
FS	(株)フルスピード=東証マザーズ上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CB	(株)カームボールド=(株)フルスピードの完全子会社
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社
ESP	旧(株)ESP。現在はGPが吸収合併

略称	セグメント名
BB	ブロードバンド事業
MB	モバイル事業
AD	アドテクノロジー事業
CL	クラウド事業
HT	ヘルステック事業
ETC	その他

1. 2018年4月期 第2四半期 連結業績



連結業績

- ・売上高、営業利益ともに計画通り進捗
- ・注力事業であるヘルステック事業とモバイル事業の販売促進・サービス開発を積極的に実施
- ・マンションインターネットは増収増益を継続、関連サービスの拡充に向けて積極的に投資
- ・持分法による投資損失は下期は発生しない見込み



アドテクノロジー事業

- ・中核であるフルスピードグループの四半期売上高及び営業利益が過去最高を更新



モバイル事業

- ・前期はTONE端末一時売上とSIM有償化に伴う駆け込み需要があったため前年同期比では減収減益
- ・8月から開始したIP電話サービスが収益に貢献



ヘルステック事業

- ・事業開始以降、売上高は順調に推移。フリービットEPARKヘルスケアは、11月単月黒字化達成（速報ベース）

注力事業投資による今期利益への影響

来期以降の増収増益基調の確立に向けた先行投資実行により今期は減益

(単位：億円)

影響区分	項目	内容	1Q会計 実績	2Q会計 実績	上期 実績
営業利益	Health Tech (FBEPH)	下記を目的にサービス拡充及び人員強化へ投資を実行 <ul style="list-style-type: none"> ● サービス利用者数の拡大 ● サービス提供調剤薬局の拡大 	△1.9	△2.6	△4.6
	不動産Tech (イオンハウジング事業)	下記を目的に新規事業へ投資 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産関連事業の展開 ● IT活用の新サービス投入による優位性確立 	△0.2	△0.4	△0.7
経常利益	モバイル (トーンモバイル)※	契約者数拡大のためのサービス拡充・広告宣伝・割引プランの実施	△2.3	△1.7	△4.0

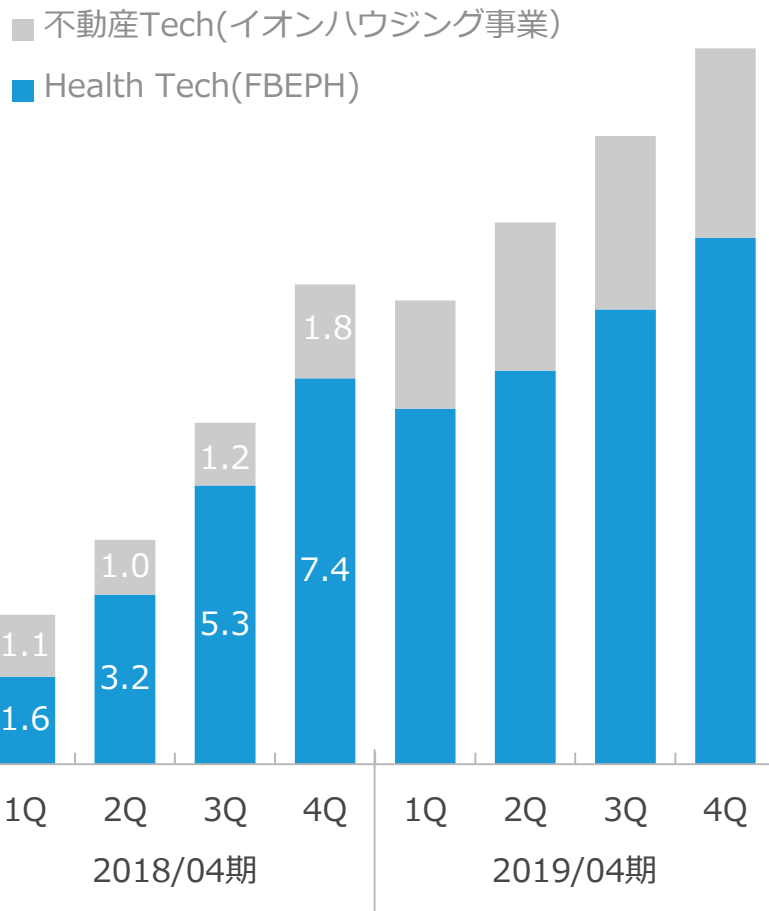
※ 持分法適用関連会社であり、PLには「持分法による投資損失」として計上

注力事業への投資による今後の見通し

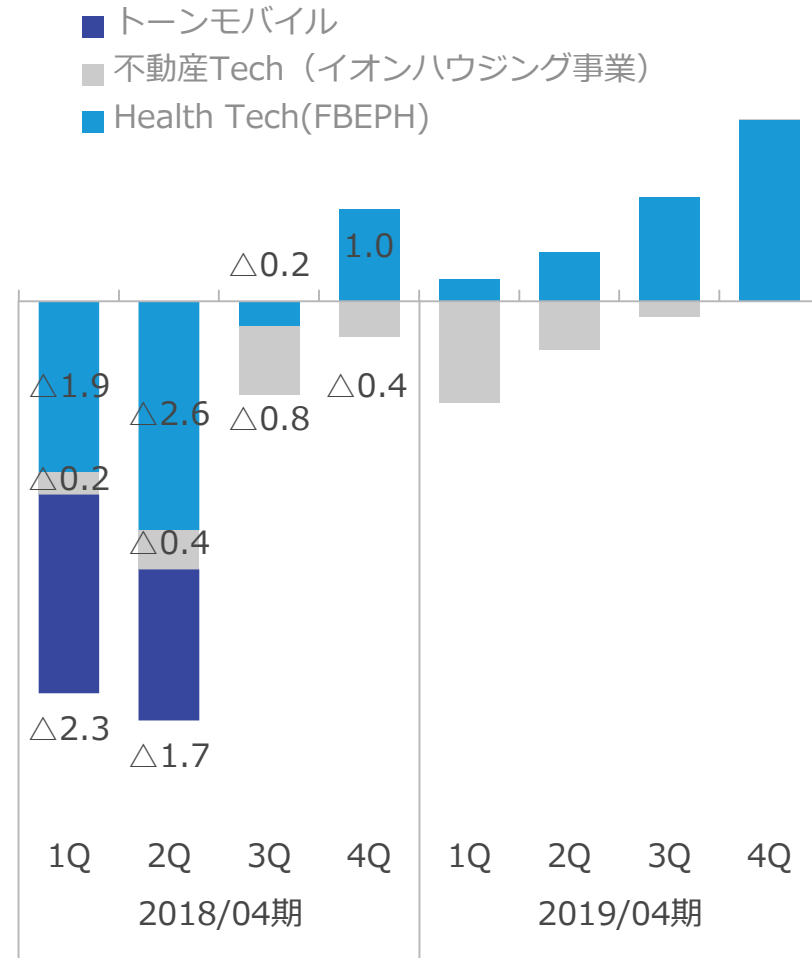
先行投資効果により増収増益基調となる

(単位：億円)

売上高に与える影響額



利益に与える影響額

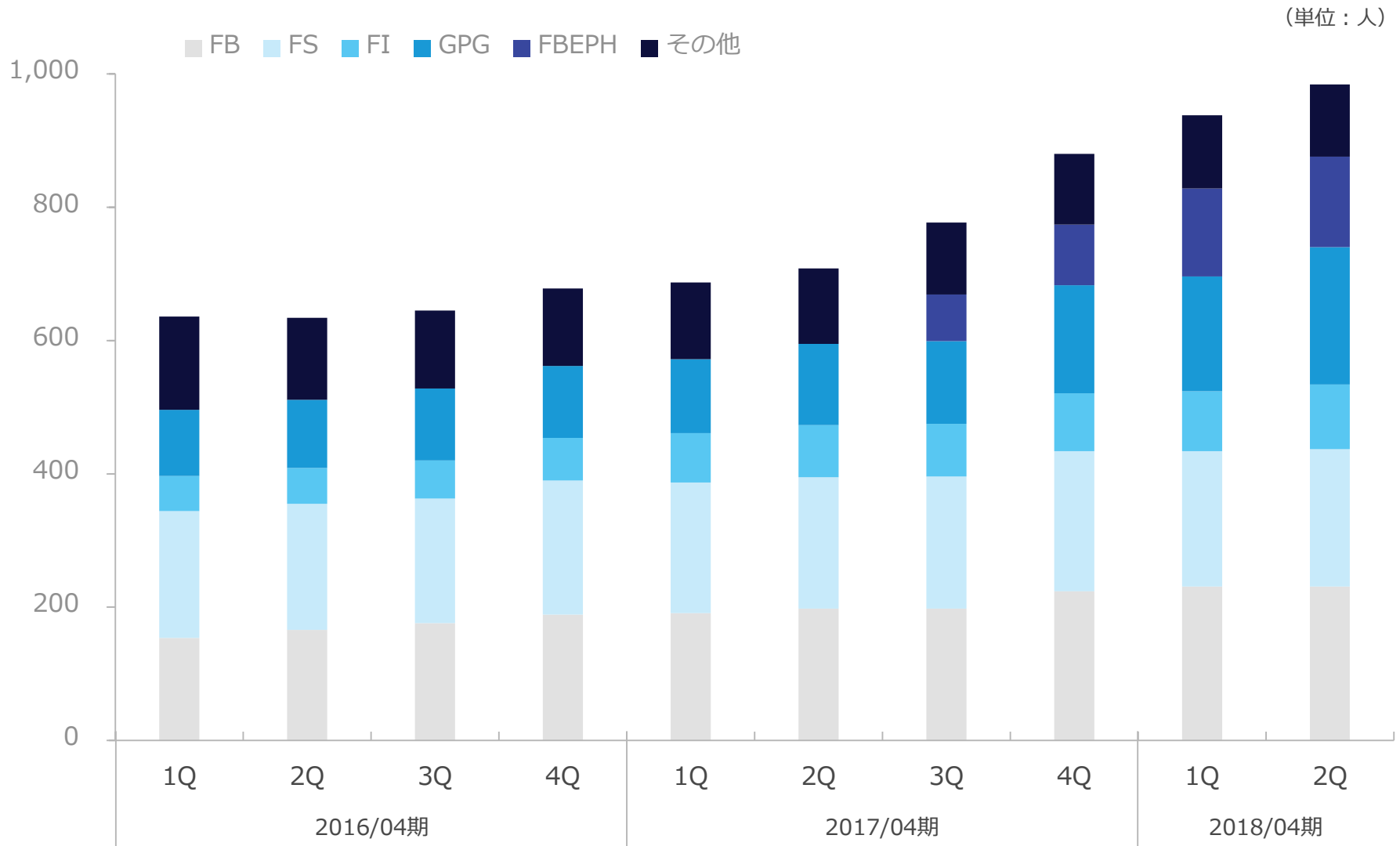


(単位：百万円)	18年04期 第2四半期	17年04期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	19,407	18,689	+718	+3.8%
EBITDA	1,164	1,613	△449	△27.9%
営業利益	422	1,118	△695	△62.2%
経常利益	△ 3	839	△843	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ 806	192	△998	—
1株当たり純利益	△ 36円34銭	8円65銭	△44円99銭	—

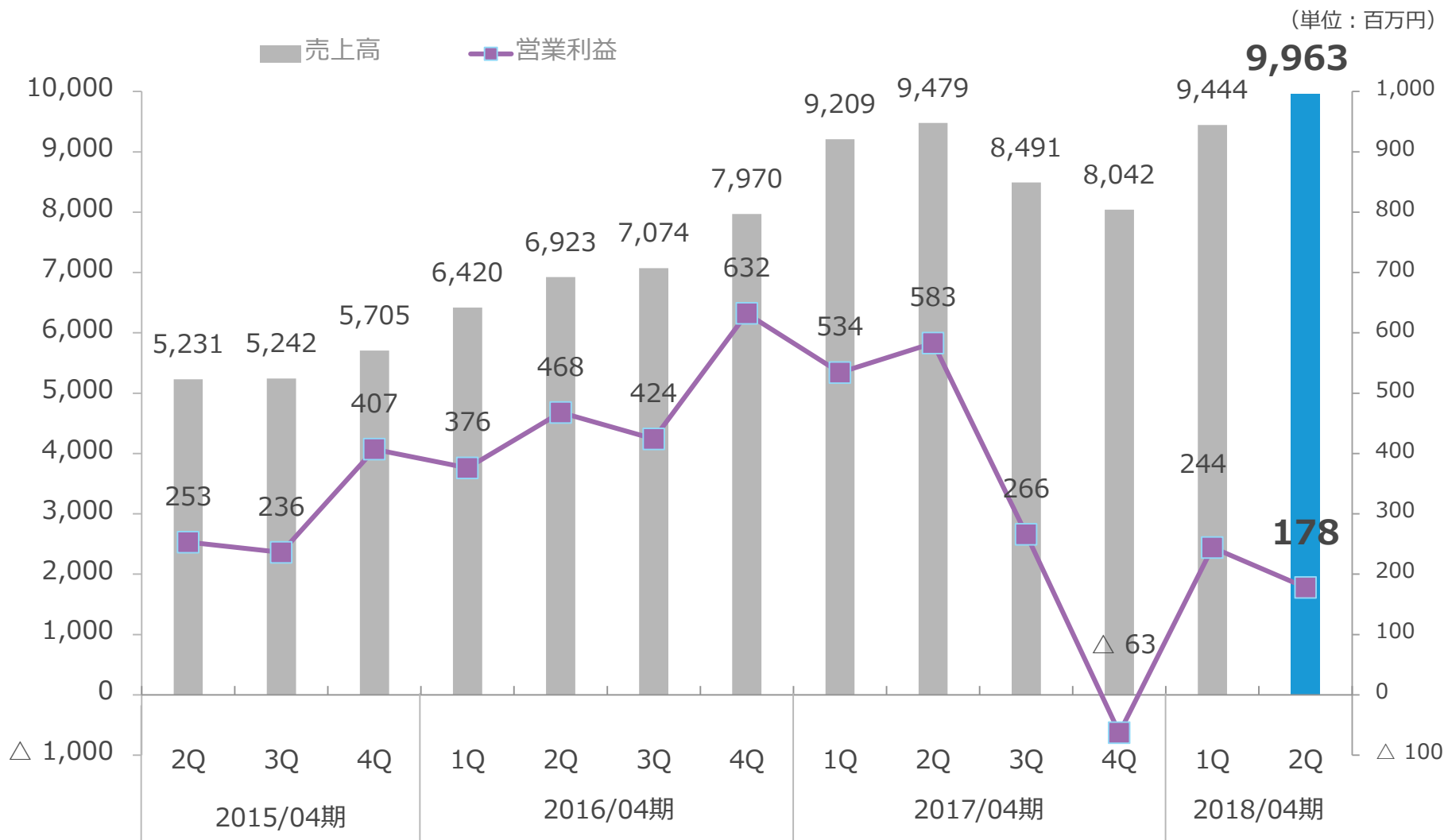
**2018年4月期第2四半期連結業績は、前年同期比で売上高3.8%増
注力事業への先行投資により、営業利益62.2%減**

- ・売上高：マンションインターネット及び新規事業の開始により増収
- ・営業利益：ヘルステック事業先行投資等により減
- ・経常利益：営業利益減少及び持分法による投資損失により減
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益減少及び減損損失により減

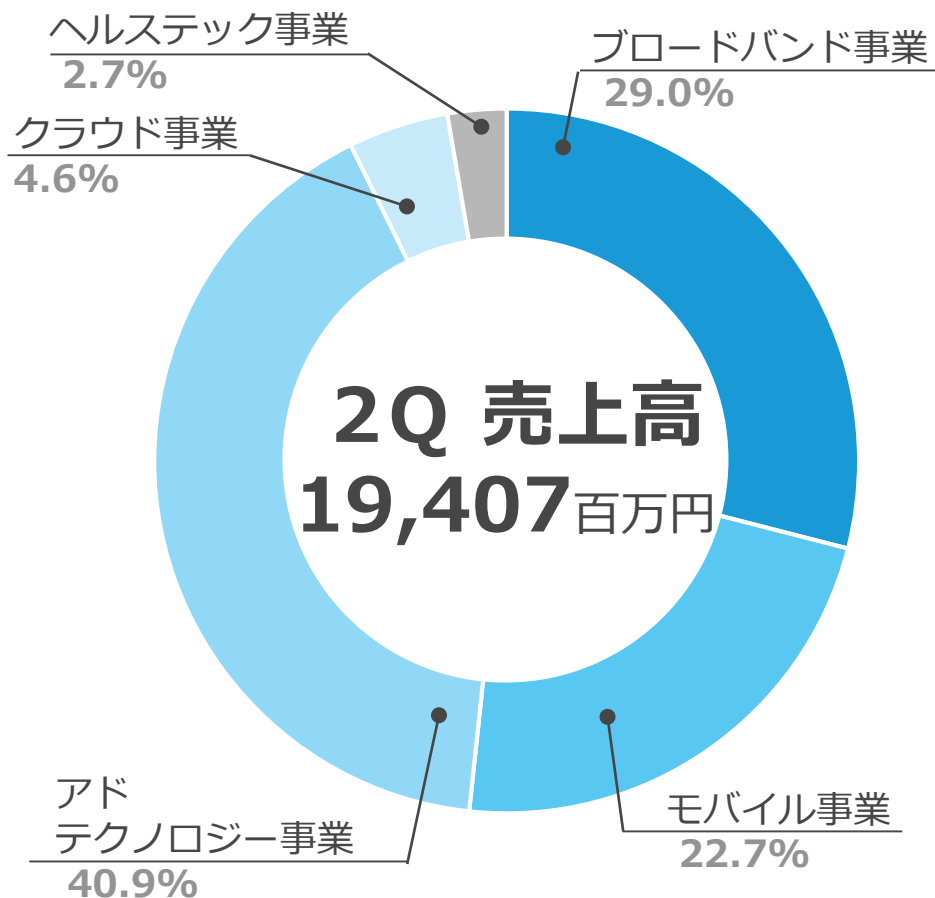
事業拡大により人員体制強化を実施



売上高は前年同期比4.8億円増となり、過去最高の四半期売上を更新

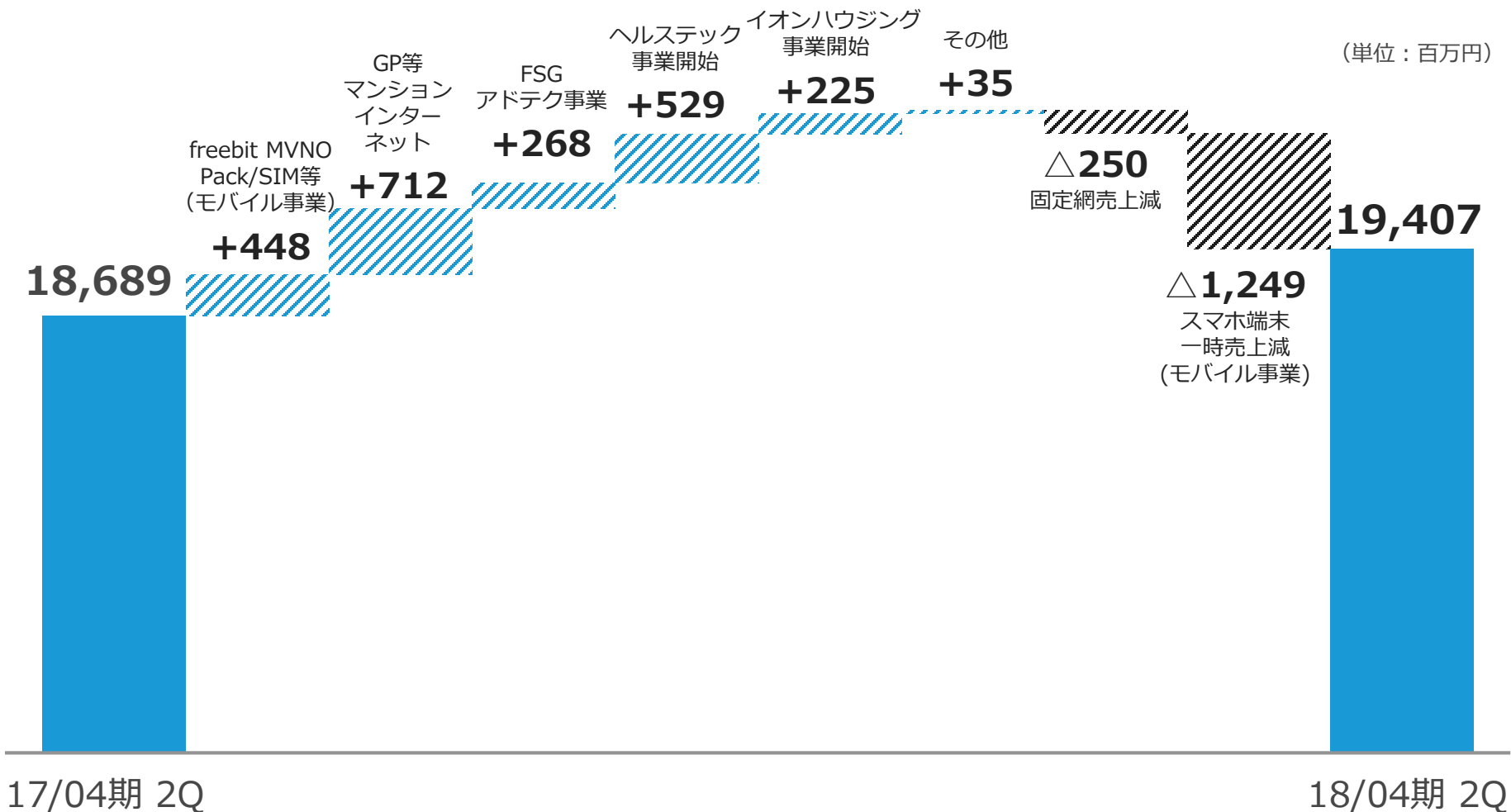


ブロードバンド事業・アドテクノロジー事業が増収を牽引

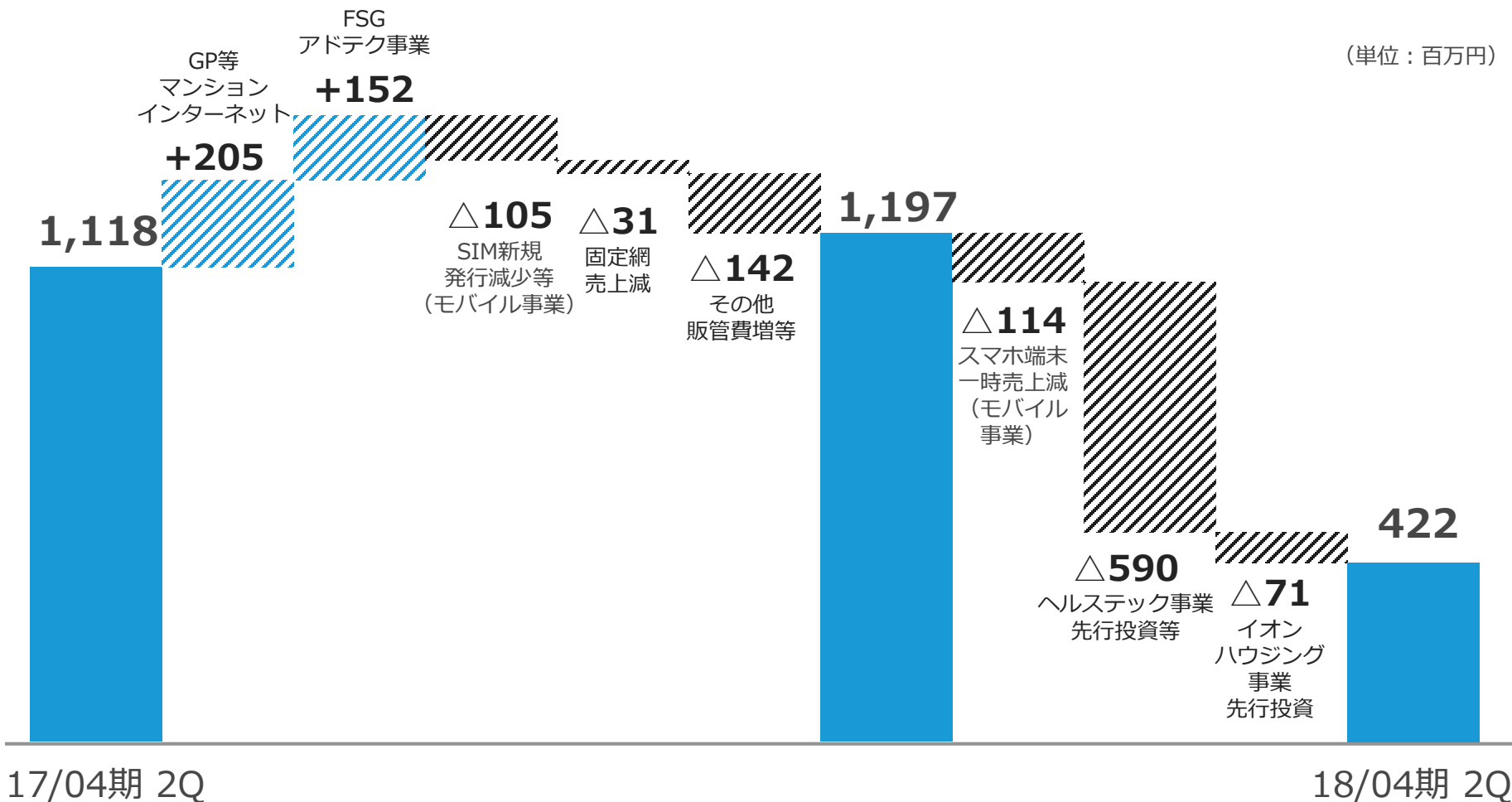


売上高	セグメント損益
ブロードバンド事業	
5,649 百万円 YoY +15.3%	916 百万円 YoY +11.7%
モバイル事業	
4,420 百万円 YoY Δ 15.3%	Δ 312 百万円 YoY Δ 254百万円
アドテクノロジー事業	
7,976 百万円 YoY +3.5%	735 百万円 YoY +26.1%
クラウド事業	
904 百万円 YoY Δ 11.1%	6百万円 YoY Δ 94.8%
ヘルステック事業	
529 百万円	Δ 490百万円

freebit MVNO Pack、マンションインターネットの堅調な推移とヘルステック事業開始により前年同期比3.8%増となり計画通り進捗

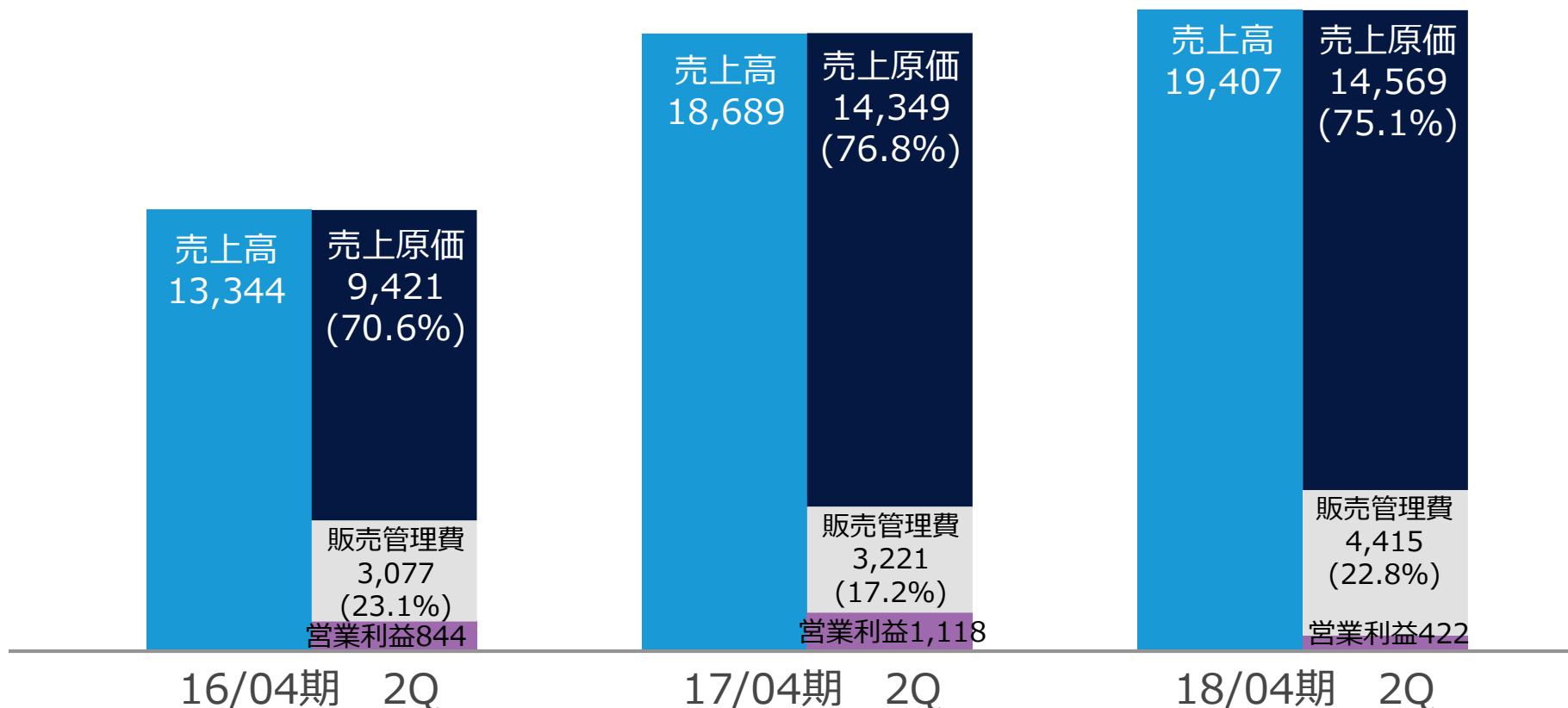


売上高に連動してベース利益は増加。ヘルステック等の注力事業への投資により前年同期比62.2%減となったが進捗は計画通り



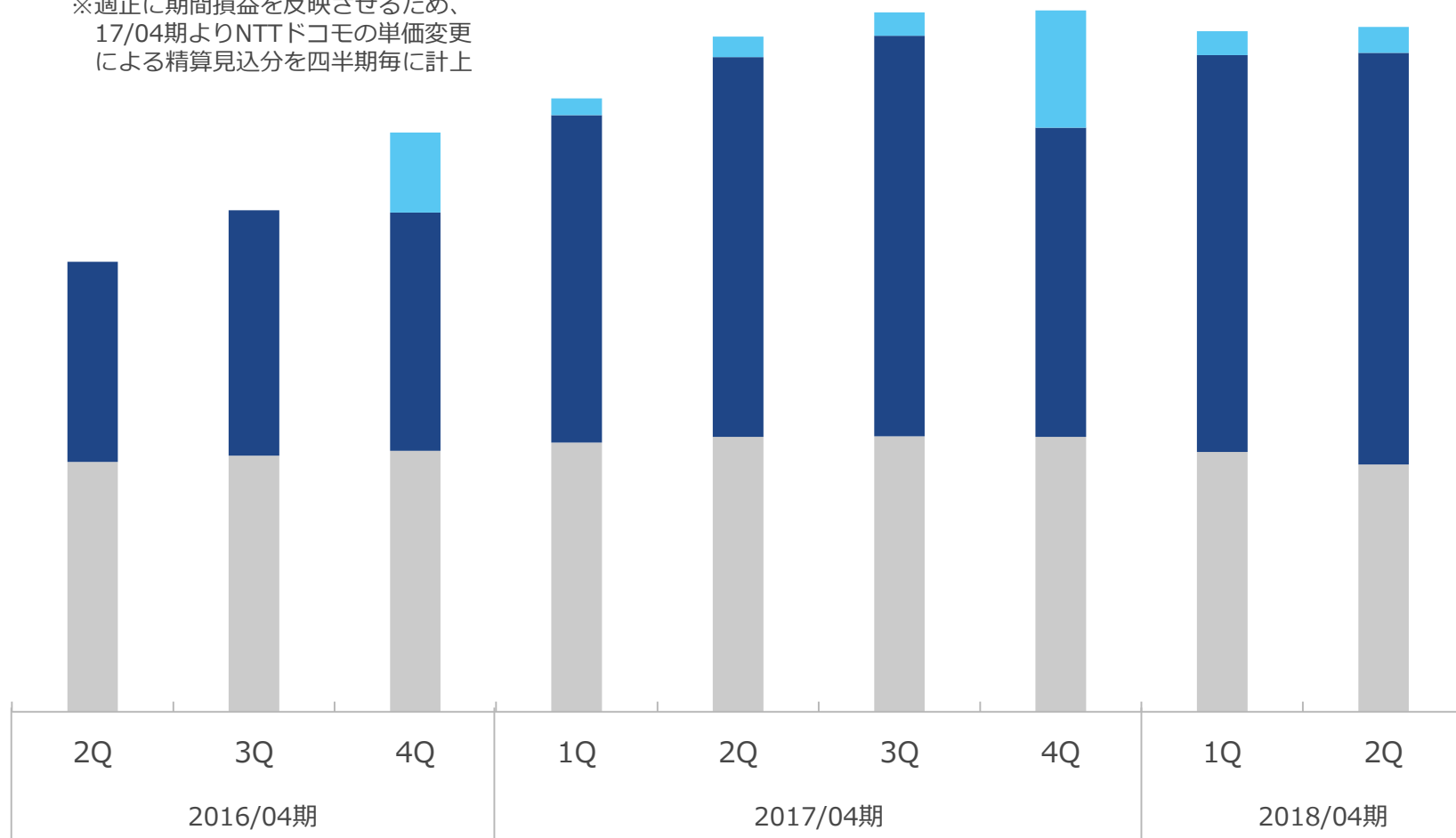
注力事業への投資により販売管理費が増加するも**売上総利益が11.5%増（4.9億円増）**となり投資効果が顕在化しつつある

(単位：百万円)



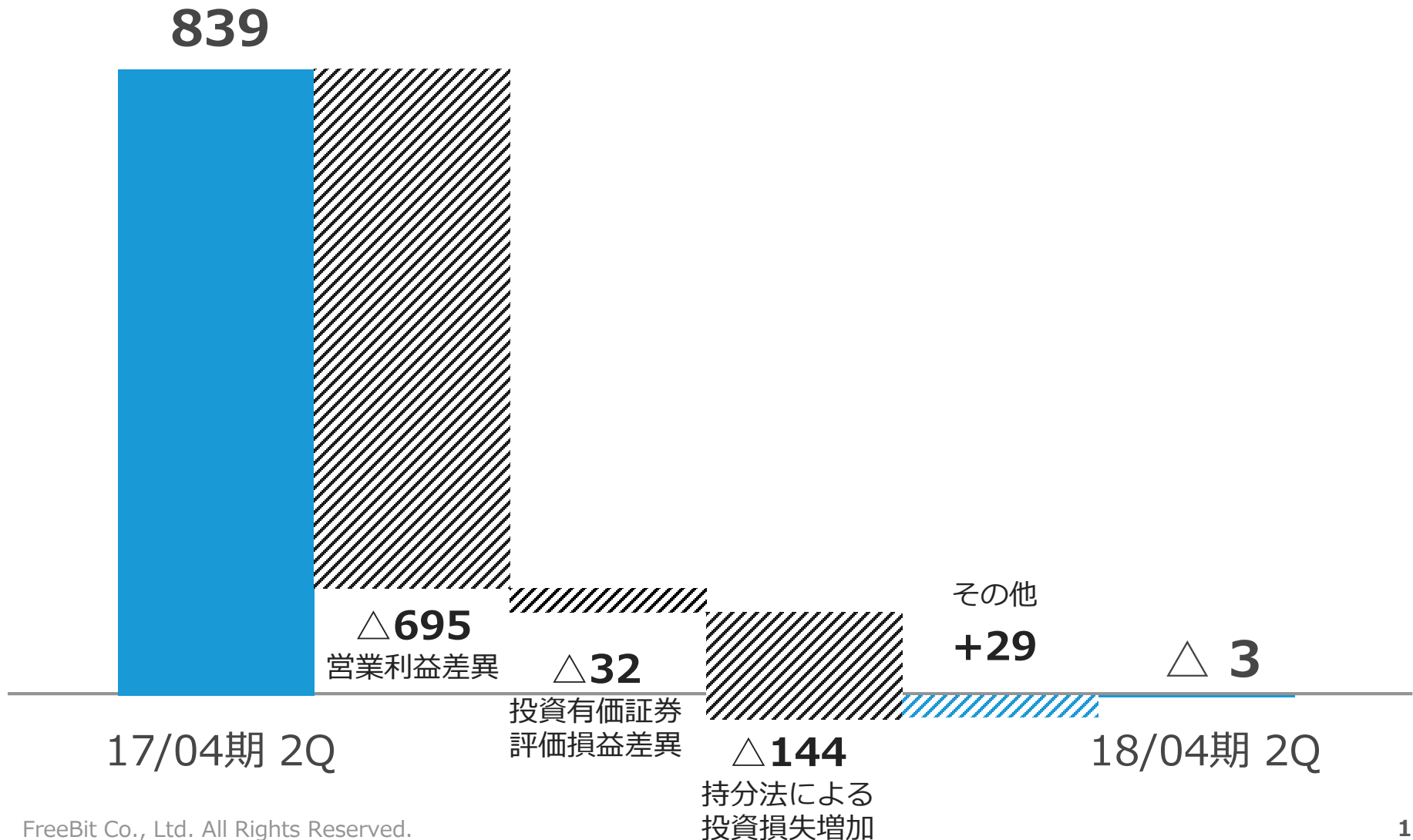
- 固定網
- モバイル
- NTTドコモの単価変更による精算分

※適正に期間損益を反映させるため、
17/04期よりNTTドコモの単価変更
による精算見込分を四半期毎に計上



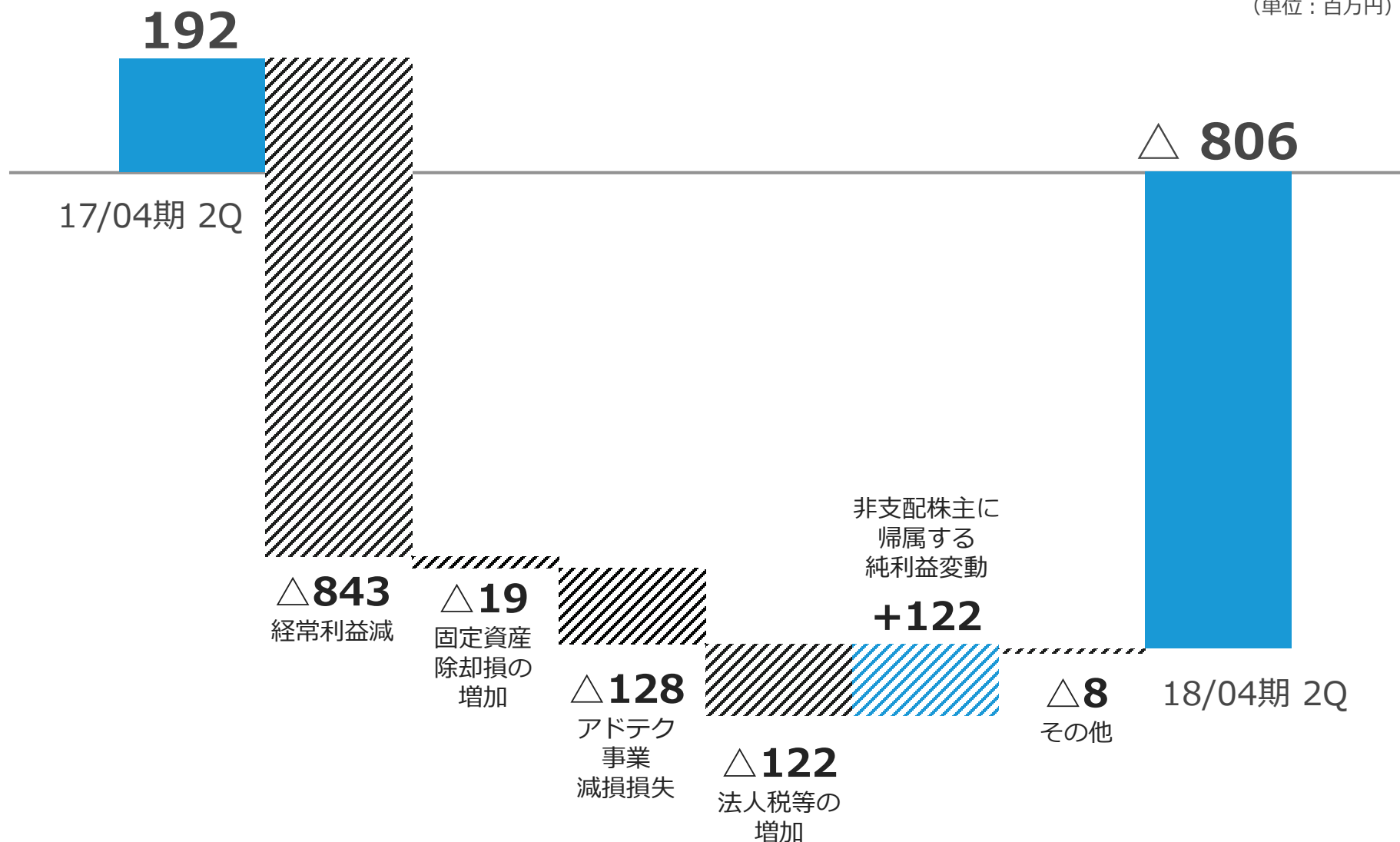
営業利益減少等により、前年同期比843百万円減少

(単位：百万円)



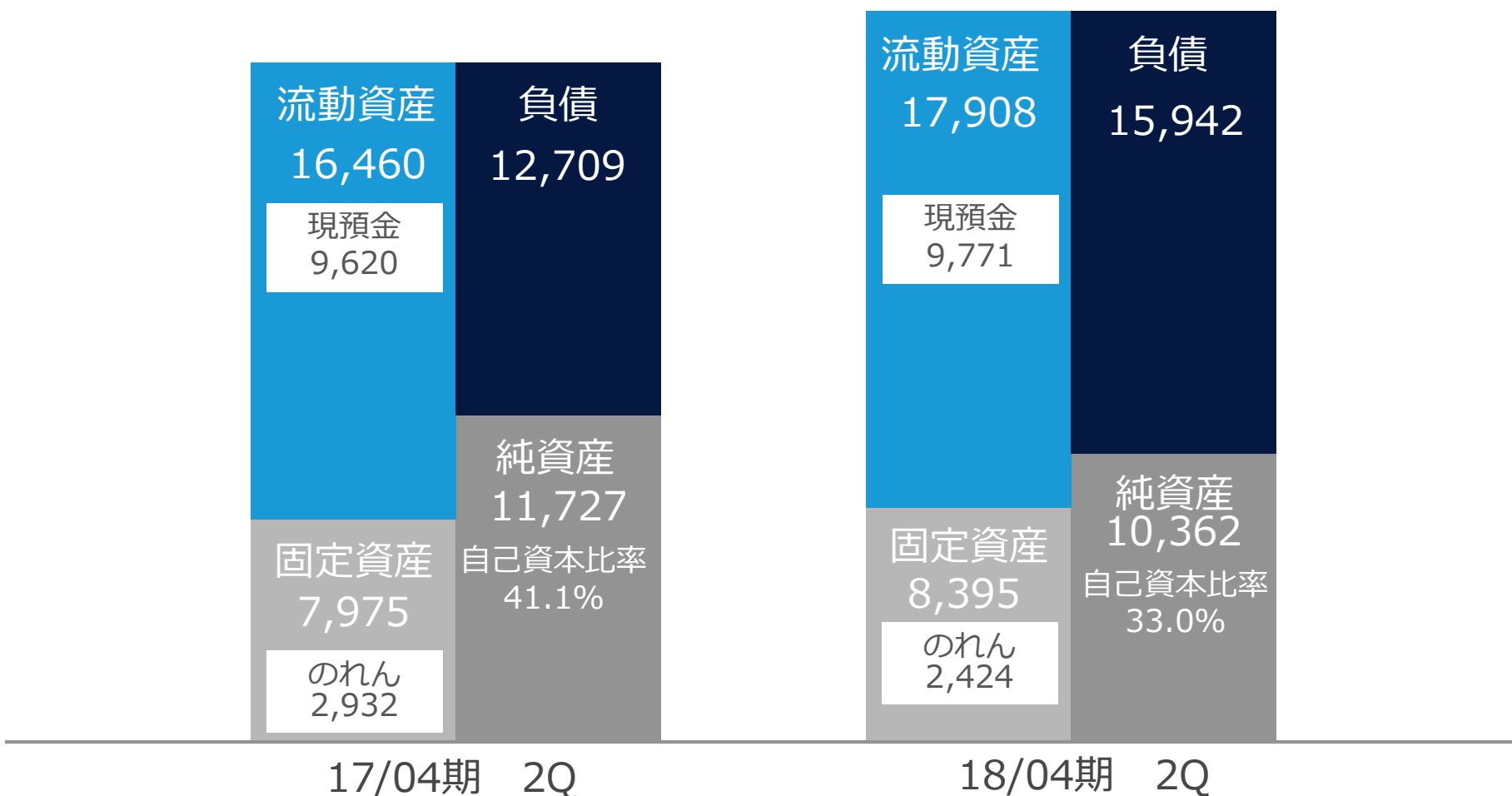
経常利益減少等により、前年同期比998百万円減少

(単位：百万円)



現預金1.6%増、のれん17.3%減、純資産11.6%減

(単位：百万円)



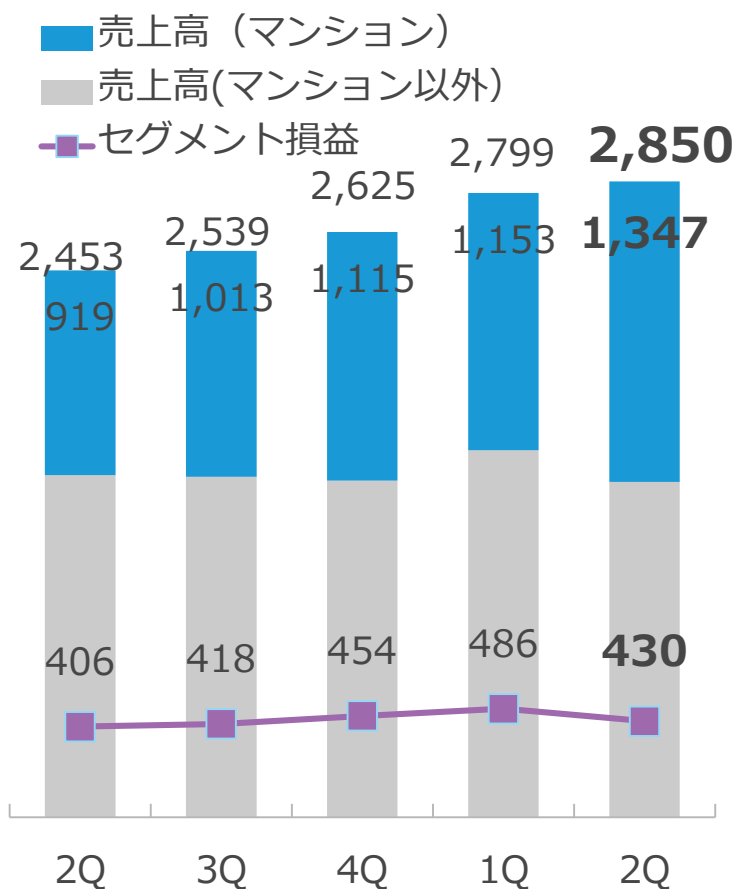
2. 2018年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗

前年同期比 売上高15.3%増、セグメント損益11.7%増

マンションインターネット及び光コラボ施策が堅調に推移し増収増益

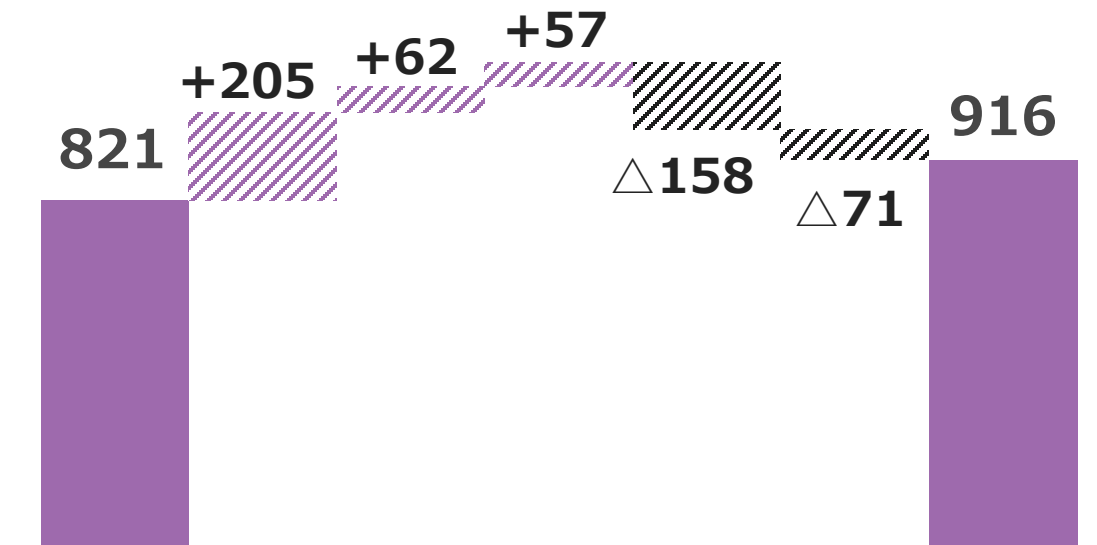
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



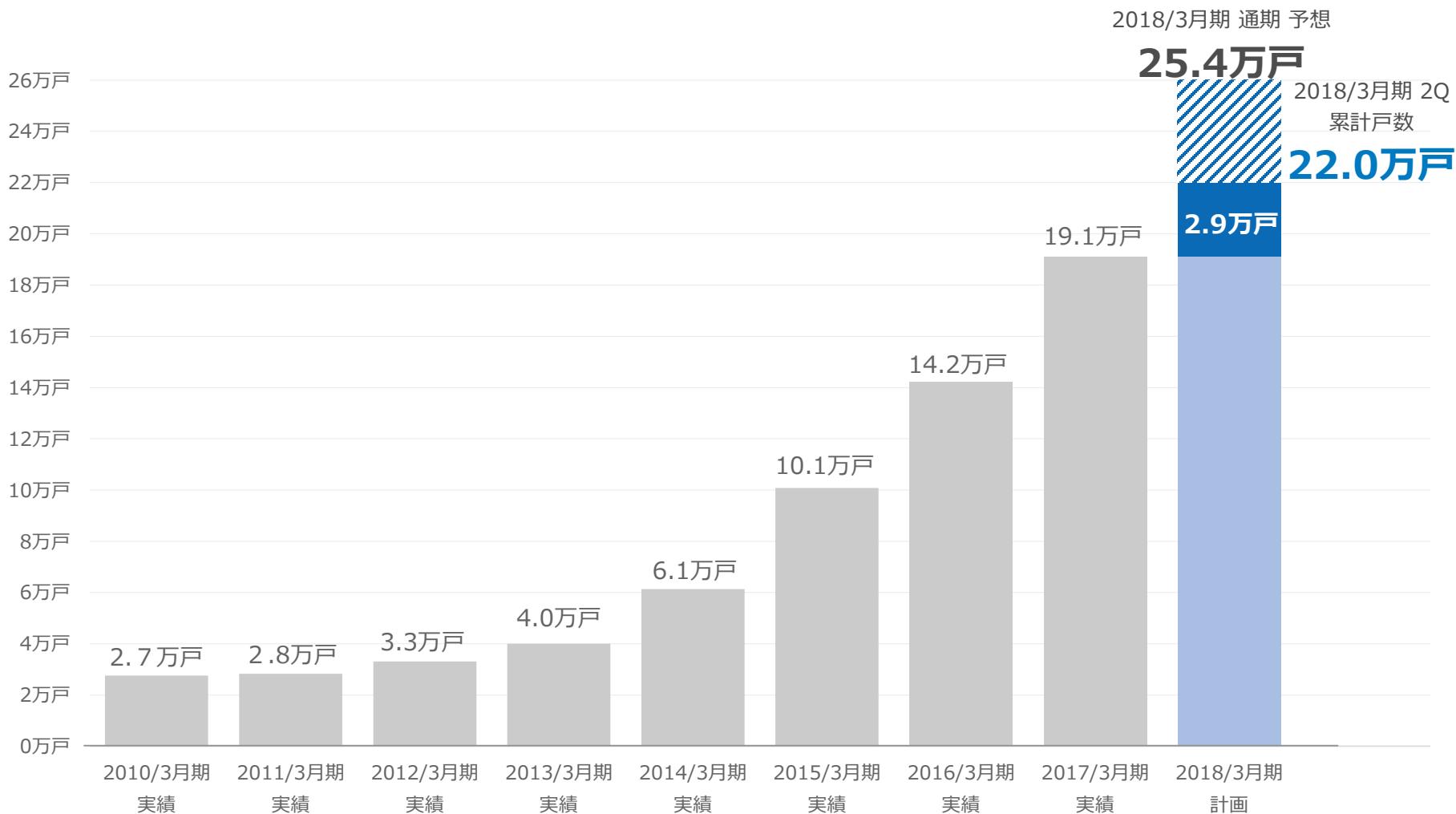
セグメント損益前年同期比差異分析

- +205 マンションインターネット売上増
- +62 その他売上増
- +57 光コラボ施策
- △158 その他人件費増等
- △71 イオンハウジング事業開始による利益減



前年同期比 +20.8% の2.9万戸増加を達成(前期2Q実績 2.4万戸)

当期予想 25.4万戸に向けて順調に推移



不動産TechのIoT戦略に向けて、戦略的に資本業務提携や出資を実施

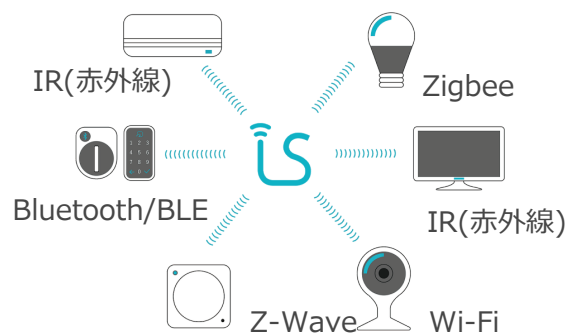
■ 10月13日プレスリリース：ナーブ株式会社との資本業務提携契約を締結

ナーブ株式会社とVR 遠隔接客店舗「どこでもストア™」の展開などの提携業務の実施及び長期的パートナー関係の構築・強化を目的に、資本業務提携契約を締結



■ 10月31日プレスリリース：株式会社Live Smartへの出資を実施

株式会社Live Smartとのさらなる関係強化と、より競争力の高い住環境領域向けIoTサービスの実現を目的に、10月31日付で出資を実施



アプリ

LINE

前期の一時的増益要因であるスマホ端末売上の減少により減収減益

8月に拡充したIP電話サービスが収益に貢献

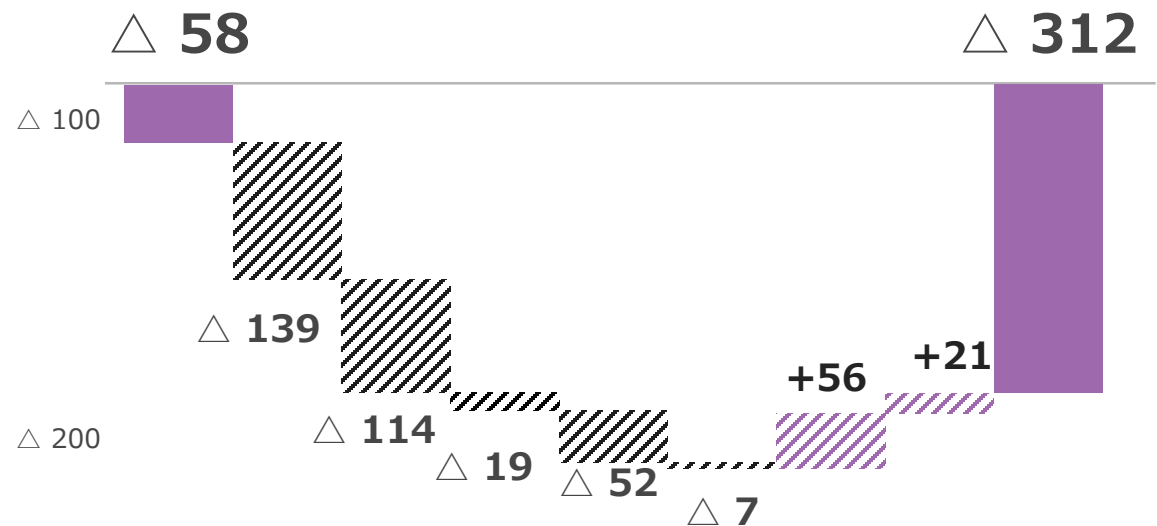
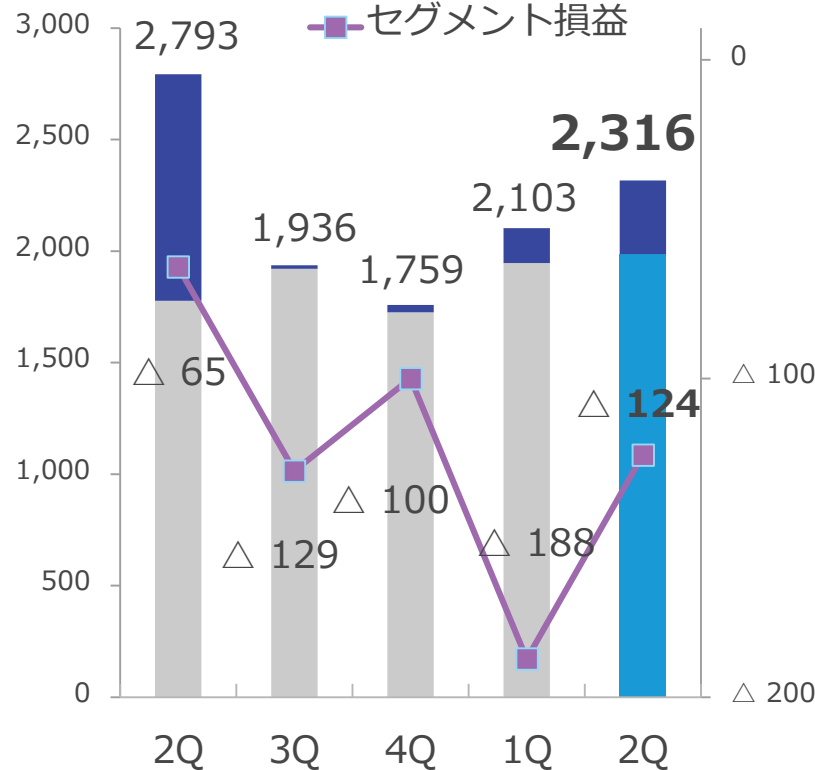
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析

- スマホ端末売上
- 売上高(端末を除く)
- セグメント損益

- △ 139 SIM初期発行減少等
- △ 114 スマホ端末売上減
- △ 19 WiMAX獲得増による手数料増等
- △ 52 配賦費用増
- △ 7 その他
- +56 IP電話サービス利益増
- +21 DTI SIM粗利増等



DTI SIM、プレフィックス型音声通話オプション “おとくコール”の提供を開始



もっとおとくに、
もっと話そう

 おとくコール **10**

 おとくコール



見守りサービス「TONEファミリー」がグッドデザイン賞を受賞 さらに、安心・安全を実現する新サービスを続々と発表

あんしん電話



080-0000-0000

危険な可能性のある着信

詐欺等の迷惑電話の可能性あり



080-0000-0000

注意する必要がある着信

しつこい営業等の迷惑電話の可能性あり



お元気ナビ



お薬ナビ



090 電話

かけ放題



おためしレンタル

TONE福利厚生

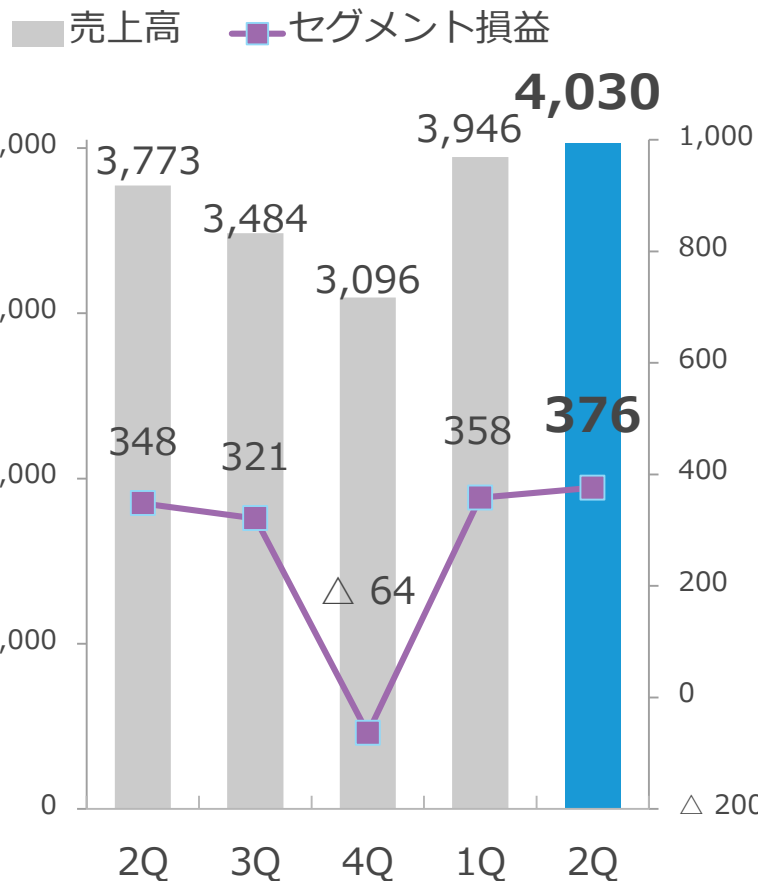
TONE



前年同期比 売上高3.5%増、セグメント損益26.1%増

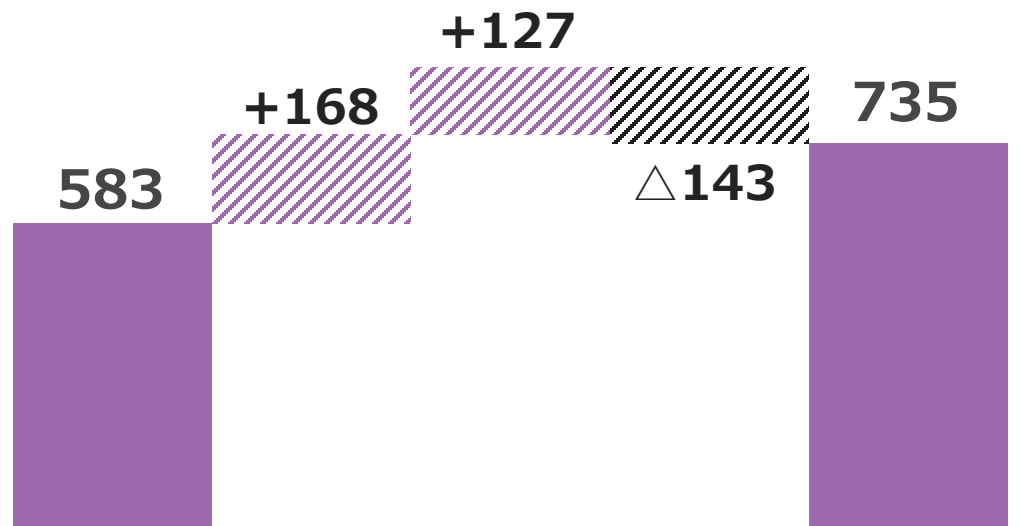
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- +168 FSG売上増加に伴う粗利増
- +127 FSG貸倒引当金繰入額減少による利益増
- △143 FSG販売管理費増等による利益減



強固なテクノロジー開発基盤によるプロダクト開発

テクノロジー

差別化/競争力を有するプロダクト・ポートフォリオによるテクノロジーカンパニーへ

マーケティング

独自ビッグデータ確保によるマーケティング事業への差別化シナジー創造

プロダクト

アフィリエイト	DSP	動画アドネットワーク	DMP	プロダクト・メディア
 afb	 ADMATRIX DSP	 PolymorphicAds	 DMP	 GoJapan

技術戦略本部

×

FULLSPEED
TECHNOLOGIES

※Cebu

テクノロジー開発基盤

BtoBマーケティング DSP国内 No.1

独自ターゲティング型広告配信プラットフォーム「ADMATRIX DSP」の実現へ

独自技術により国内最大級の企業IPデータに加えて、新たに動画機能、更なる独自データ拡大による、業界圧倒的ポジションを確保へ・・・





国内最大級の配信在庫量を持ち、**国内最多のIPデータ量と独自解析技術を基に**

国内の企業、業種にターゲティングができる BtoB マーケティングの支援を得意とする DSP

特許出願技術 **DOI** (Dynamic Office IP Identification)

変動IPアドレス / 固定IPアドレス

提携パートナー (DMP)  

直近リリース予定 coming soon

Movie function
新規動画機能



New Data
独自データの確保



アフィリエイト・プラットフォーム「afb」の継続的な事業拡大

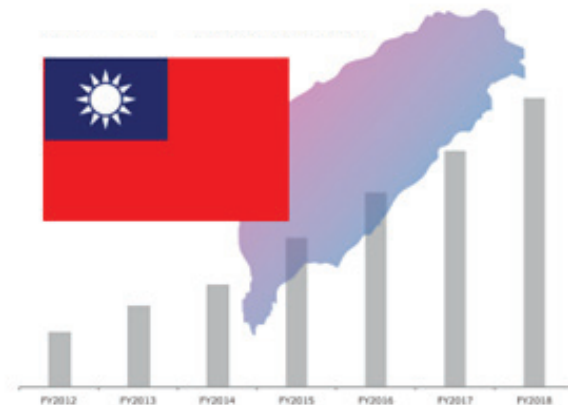
アフィリエイトとの親和性が高い**台湾**への事業拡大 2018年1月台湾支社設立(予定)



利用者満足度率 3年連続 No.1 ※ 成功報酬型のアフィリエイト・プラットフォーム

2017年6月より台湾での新サービスを提供中
※「第16回アフィリエイトカンファレンス」の「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2017」における利用者満足度

現地メディアへの広告出稿数も増加中



今後の事業戦略

next stage

Overseas

<海外展開>



2018.01 台湾支社 設立予定

Technology

<テクノロジー連携強化>

Genre

<ジャンル拡大>



「afb」今後の日本国内でのトピックス

イベント

「afb expo in 東京」

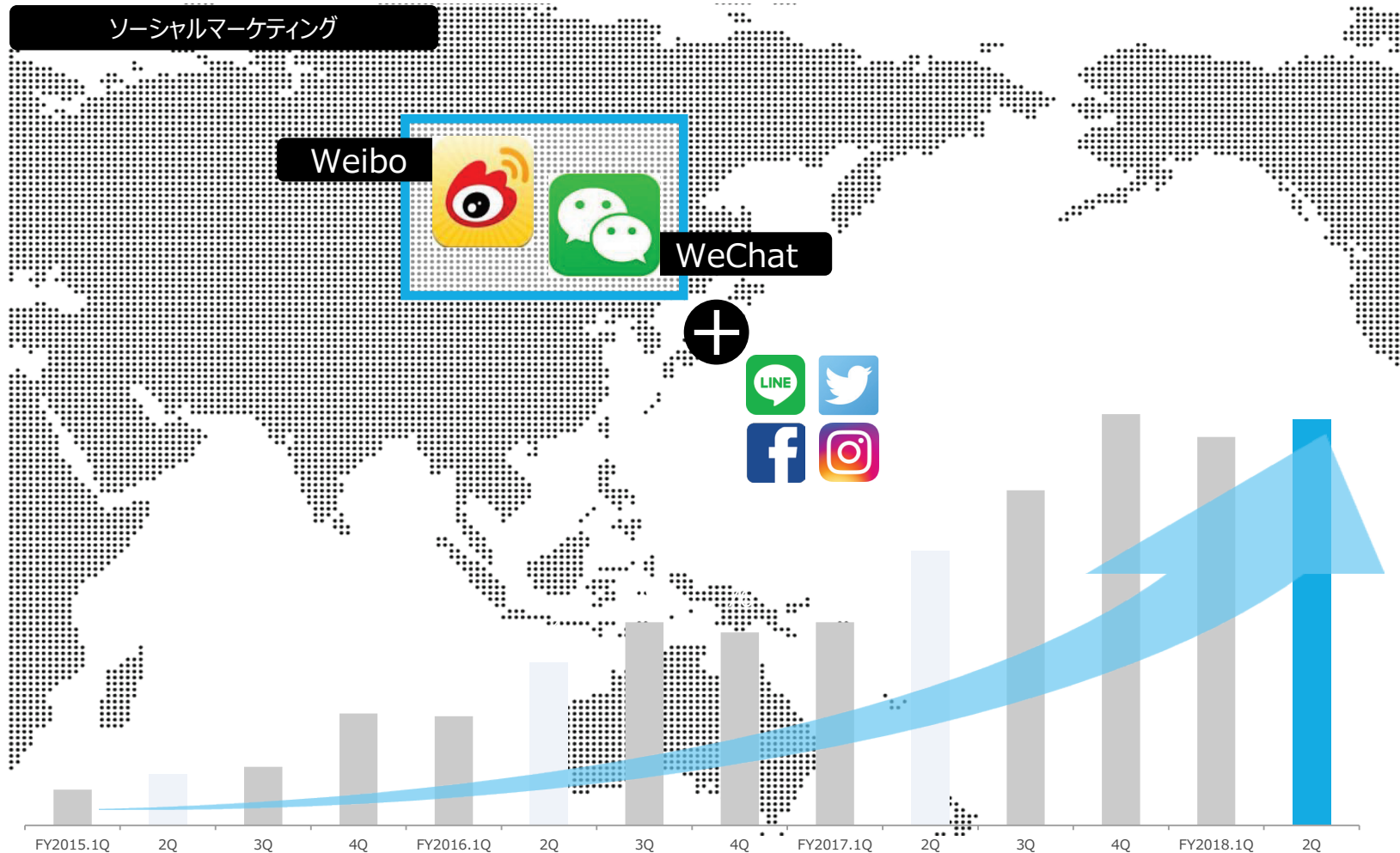
2018年3月25日（日）



パートナー様と広告主様が直接交流、広告主様の商品（サービス）やパートナー様の広告掲載方法等に係るディスカッション等を目的としたフォーイット主催の大型イベントを開催

需要拡大に伴い、ソーシャルメディアマーケティング売上が堅調に伸長

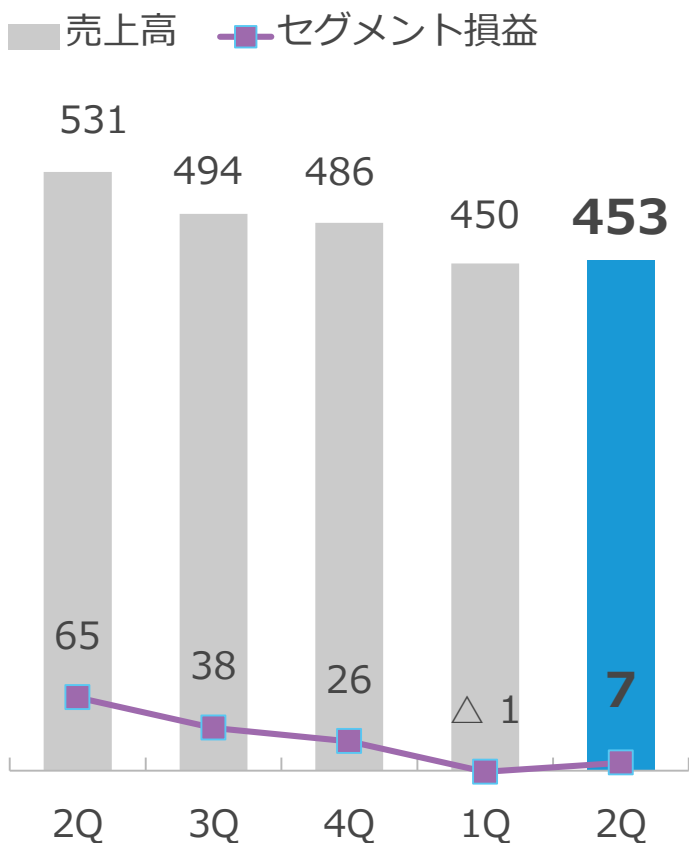
海外関連（インバウンドPR・アウトバウンドPR）も豊富なノウハウ・ソリューションを提供
 今後2020年オリンピックに向けての更なる盛り上がりを見込む



GPのESP吸収合併に伴う按分費用が増加

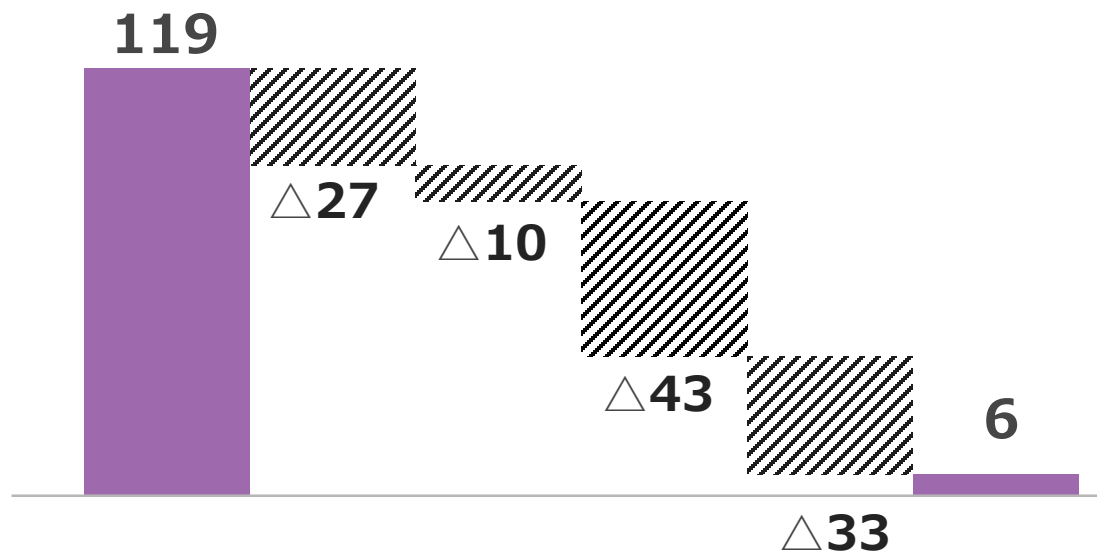
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- △27 取引先サービス終了に伴う利益減
- △10 新規サービス開始にかかる費用増
- △43 ESPの吸収合併に伴う按分率変更による費用増
- △33 レガシーサービスの整理等

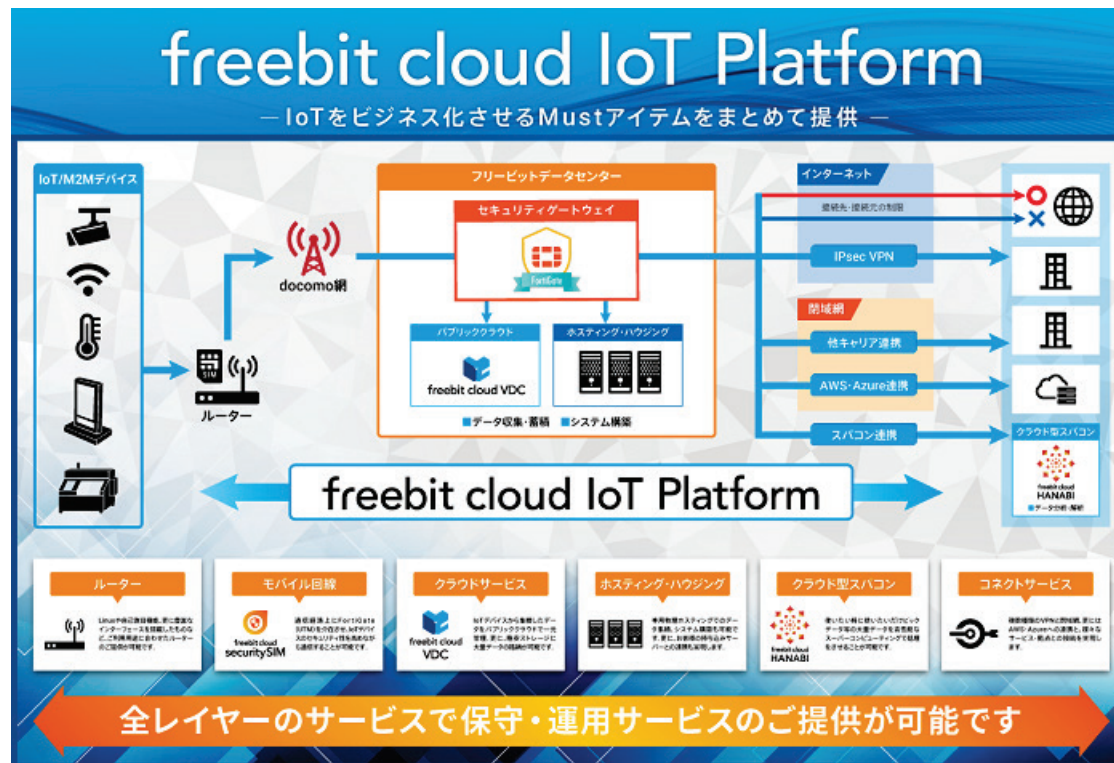




IoTに特化したクラウドサービス 「freebit cloud IoT Platform」を発表

IoTの利活用に必要なものをプラットフォーム化したことで、業界毎に細分化された特化型ニーズにも幅広く対応する事が可能な新たなIaaS型パブリッククラウドサービス「freebit cloud IoT Platform」を開発

「freebit cloud IoT Platform」サービス構成



EPARKお薬手帳は累計ダウンロード数18万件を突破

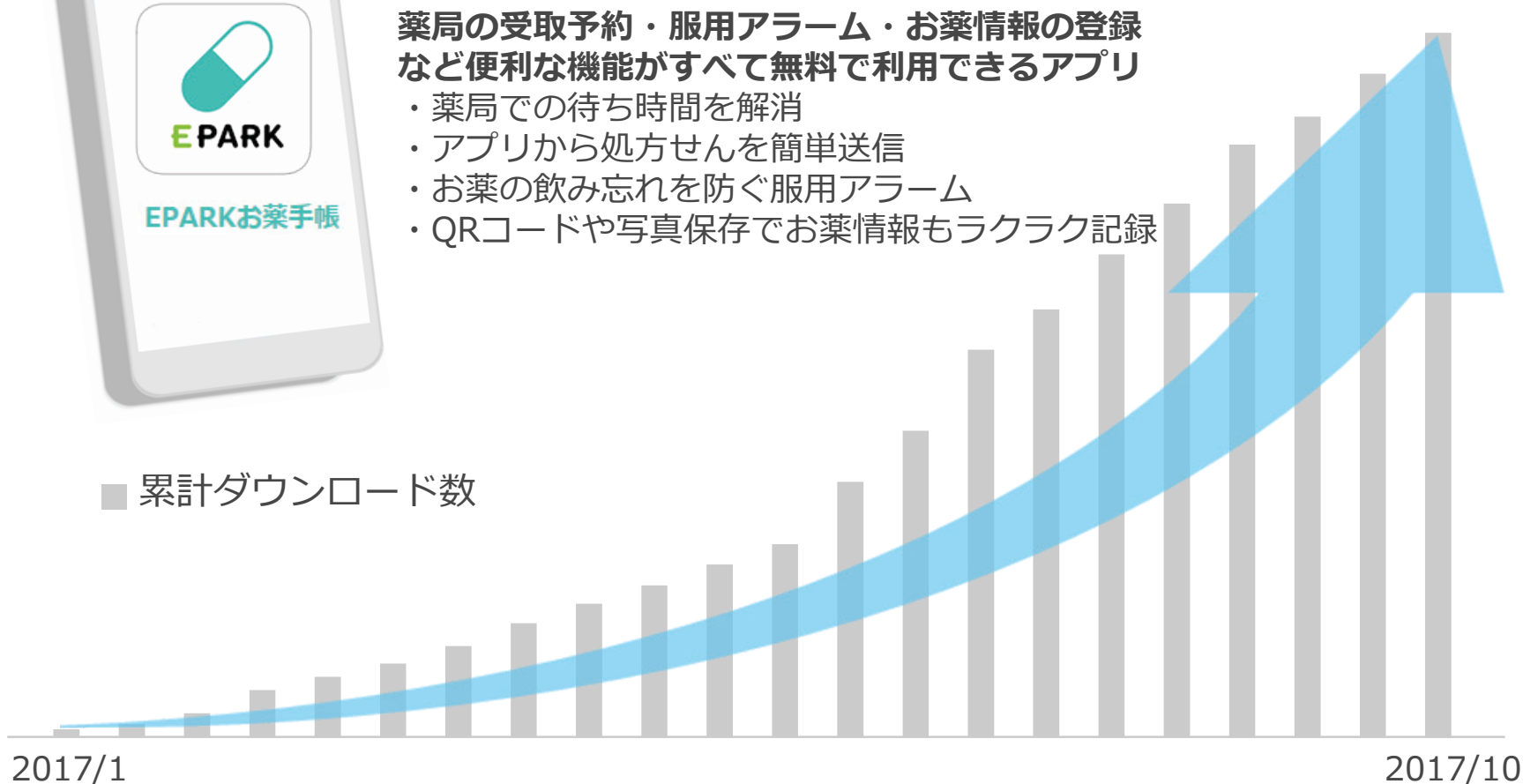


EPARKお薬手帳

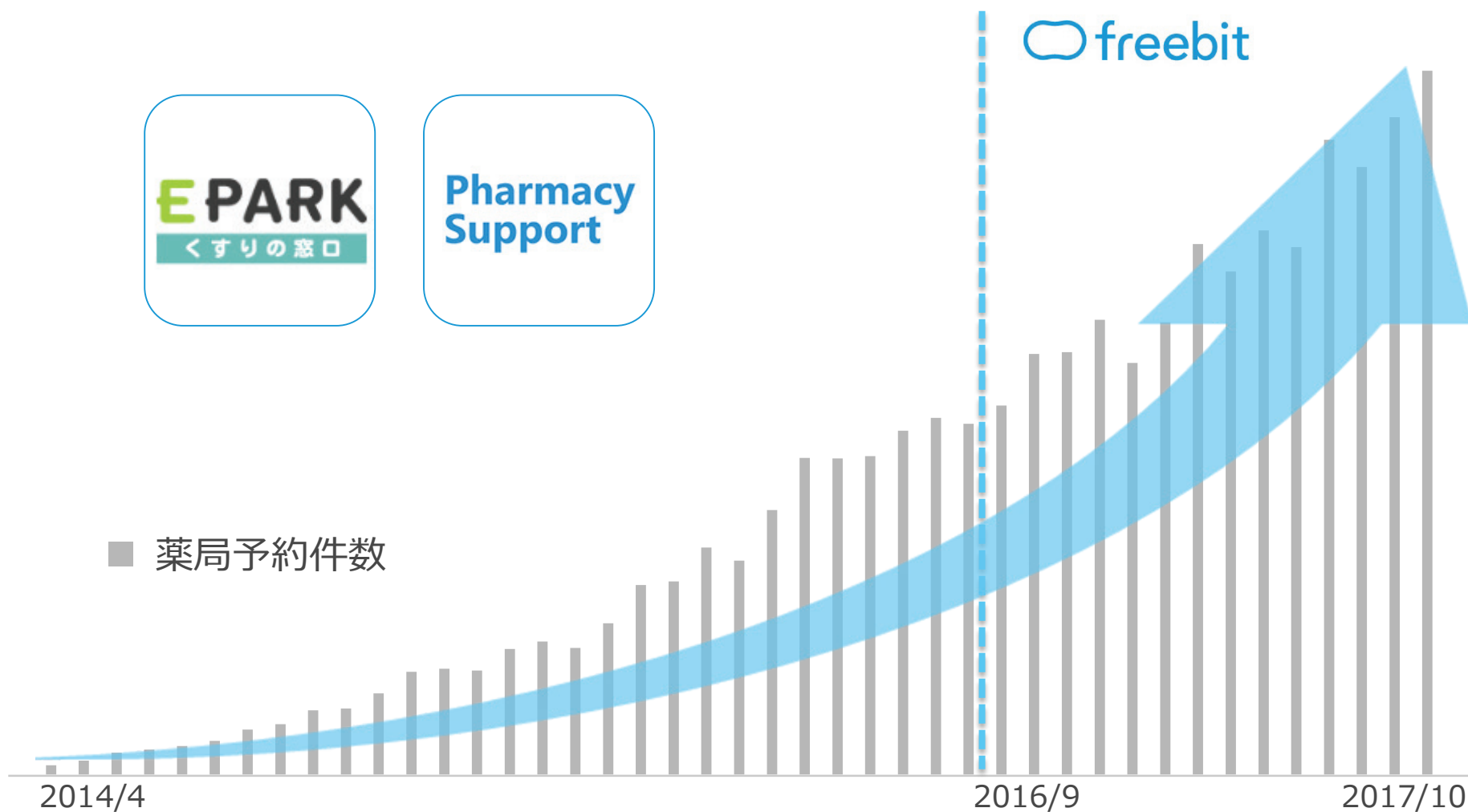
薬局の受取予約・服用アラーム・お薬情報の登録など便利な機能がすべて無料で利用できるアプリ

- ・薬局での待ち時間を解消
- ・アプリから処方せんを簡単送信
- ・お薬の飲み忘れを防ぐ服用アラーム
- ・QRコードや写真保存でお薬情報もラクラク記録

18万超



月間予約件数は順調に推移



「EPARKお薬手帳」のお薬手帳機能や薬局予約機能を
トーンモバイルの新サービス「お薬ナビ」に提供

freebit

EPARK ヘルスケア



TONE

MOBILE

「お薬ナビ」



・お薬手帳機能

QRコードを撮影するだけで、薬の種類、服用回数などの情報がスマートフォンに記録

・薬局予約機能

「MY薬局」を登録すると「お薬ナビ」から直接薬局の予約が可能

ブロードバンド事業

マンションインターネットの提供戸数増加と更なる売上拡大

- ・提供戸数、売上とも順調に拡大
 - ・不動産関連事業の拡大及びIoT等のテクノロジーを差別化要因にしたサービス開発の実行
- ### 個人向けサービスのユーザー数拡大施策による売上・利益の増加
- ・「光コラボ」サービスのドコモ光、DTI光が堅調に推移

モバイル事業

OEMの推進と個人ユーザーの積極的な獲得によるシェア拡大

- ・カメラ監視LTEパッケージ販売会社向けにデータ専用SIMの提供開始
 - ・「DTI SIM」が国内通話10分かけ放題音声通話オプションの提供開始
- ### 付加価値サービスの事業化
- ・働き方改革実現の一助となるスマートフォン+IPビジネスフォン「モバビジ」の拡販

アドテクノロジー事業

代理店数の増加及び連携強化による顧客拡大

- ・「ADMATRIX DSP」等の強化を目的とした他社サービスとの連携促進
- ### アフィリエイト・プラットフォーム「afb」の継続的な事業拡大
- ・12月に福岡営業所、1月に台湾支社を設立し、事業を拡大

クラウド事業

クラウドサービスやネットワークセキュリティサービスの拡販

- ・IoT向けクラウドプラットフォーム「freebit cloud IoT Platform」の提供開始

ヘルステック事業

フリービットEPARKヘルスケア当期内での単月黒字化

- ・フリービットEPARKヘルスケアは、集客数及び提携薬局数の順調な増加により、下期は黒字となる見通し
- ・医療情報基盤のリソースを活かしたサービスラインアップの拡充に注力

上期は「SiLK VISION 2020」に向けた注力事業への投資が集中したものの、下期は下記要因により営業利益の大幅な増加を見込む

1. 「のれん償却額」の減少

DTI取得時ののれんの大半が終了（約1.7億円の利益増加）

2. 季節要因による増加

主にfreebit MVNO Pack、マンションインターネット、アドテクノロジー事業について第4四半期に利益が大きくなる傾向

3. FBEPHの下期黒字転換の見込み

（単位：億円）

影響区分	項目	上期実績	3Q会計見込	4Q会計見込
営業利益	Health Tech (FBEPH)	△4.6	△0.2	+1.0

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は当第2四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <http://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。